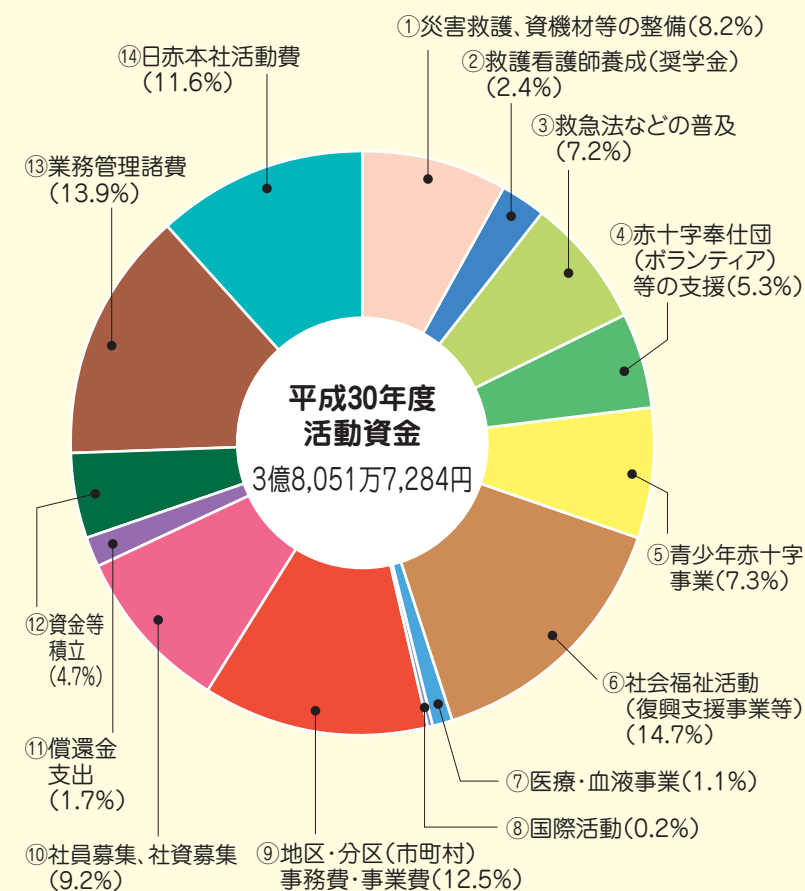


平成30年度 日本赤十字社福島県支部 一般会計決算報告



【歳入】	
①一般社資収入(個人社費、寄付金)	281,754,989円
②法人社資収入(法人社費、寄付金)	22,030,260円
③委託金収入	2,473,077円
④本社交付金	72,893,023円
⑤繰入金(資金、特別会計)	4,800,000円
⑥償還金収入	6,660,000円
⑦雑収入	2,987,672円
⑧前年度繰越金	48,717,815円
合 計	442,316,836円

【歳出】	
①災害救護、資機材等の整備	31,247,728円
②救護看護師養成(奨学金)	9,012,662円
③救急法などの普及	27,585,506円
④赤十字奉仕団(ボランティア)等の支援	20,048,362円
⑤青少年赤十字事業	27,869,732円
⑥社会福祉活動(復興支援事業等)	55,785,006円
⑦医療・血液事業	4,150,878円
⑧国際活動	600,000円
⑨地区・分区(市町村)事務費・事業費	47,491,908円
⑩社員募集、社資募集	35,116,917円
⑪償還金支出	6,660,000円
⑫資金等積立	17,967,880円
⑬業務管理諸費	52,867,918円
⑭日赤本社活動費	44,112,787円
合 計	380,517,284円
歳入歳出差引額(繰越金)	61,799,552円

※繰越金は、翌年度初めの活動資金となります。

あなたの思いを赤十字に ～ご自分や故人の思いを 広く社会に役立てるために～

日本赤十字社の行う様々な活動は国や県の補助金を受けておらず、赤十字にご賛同いただいた皆様からのご支援によって実施されます。赤十字へのご寄付は税制優遇措置がある他、ご協力いただいた金額により表彰制度を設けております。また、故人様の遺言やご遺族様からの「故人の遺産を広く社会のために役立てて欲しい」との尊いお申し出に答えるために遺贈、相続財産のご寄付も承っております。

赤十字だからこそできる活動へのご支援ご協力をお願いいたします。

発行所／日本赤十字社 福島県支部

〒960-1197 福島県福島市永井川字北原田17

TEL 024-545-7997(代)

<https://fukushima.jrc.or.jp>



+ 日赤ふくしま



救護班による巡回診療を実施



地元の保健師と在宅被災者の健康調査へ



赤十字奉仕団による避難所の環境改善



赤十字奉仕団による炊き出しを実施

この度の台風第19号及び大雨災害により、被害にあわれた皆様に心からお見舞い申し上げます。去る10月12日、関東・東海地方へ上陸した台風第19号の大雨により、各地で河川の氾濫や土砂崩れなどが発生し、県内にも甚大な被害が生じました。続く10月25日の大雨により、県内では更なる被害に見舞われました。

福島県支部では、10月13日から福島赤十字病院のチームによる被災病院への支援活動や、救護班による避難所等への巡回診療を行ったほか、避難所へ毛布やバスタオルなどをお届けしました。

さらに、県内の赤十字奉仕団が避難所等において炊き出しを行ったほか、学生ボランティア、鍼灸指圧ボランティア等も、その特性を生かした様々な支援活動を自主的に実施しました。

被害にあわれた皆様には、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げますとともに、日本赤十字社では、引き続き被災されました皆様に寄り添った復興支援活動を行ってまいります。

日本赤十字社は、人道を胸に皆様のいのちと健康・尊厳を守るためこれからも活動をつづけます。

令和元年度の福島県支部事業

赤十字事業は皆様からお寄せいただいた活動資金により支えられています。

日本赤十字社福島県支部創立130周年記念 福島県赤十字大会



妃殿下のご臨席を仰ぎ、式辞を述べる内堀支部長

福島県支部は、令和元年7月18日に日本赤十字社名誉副總裁の寛仁親王妃信子殿下ご臨席のもと、とうほう・みんなの文化センターにおいて、令和初の地方大会となる福島県支部創立130周年記念福島県赤十字大会を開催しました。

第1部の式典では、約1,500名の関係者が参加される中、多額の活動資金のご協力や永年の奉仕活動等功労のあった方々への表彰が行われ、妃殿下からは、震災当時の救護活動やこれまで続けてきた復興支援活動に対して、温かいおことばをいただきました。

体験発表では、いわき市四倉方部赤十字奉仕団委員長の佐藤トミ子さんが、東日本大震災で被災しながらも、懸命に活動した当時の様子を発表しました。また、学法福島高校JRC部部長の原大河さんが、10代の献血者を増やしたいという想いで取り組んだ活動内容を発表しました。



福島赤十字病院を御視察される妃殿下

第2部では、平成30年に二つの全国大会で日本一に輝いた県立郡山高校合唱部によるコンサートが行われました。合唱部がモットーにしている「輝きのある凛とした透明感のある響き」の歌声に多くの皆さんが感銘を受けていました。

妃殿下は、翌19日には平成31年1月に新築移転した福島赤十字病院をご視察され、リハビリ中の患者さんや産後のお母さんたちに励ましの言葉を掛けて下さいました。

健康生活支援講習 認知症サポーター養成講座

誰もが迎える高齢期を健やかに生きるために必要な、健康増進の知識や高齢者の支援・自立に向け役立つ介護技術の講習を県内各地で開催しました。また、認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の方や家族を温かく見守り、支援する応援者の育成を目的に認知症サポーター養成講座を実施しています。

【講習のお問合せ】事業推進課 電話 024-545-7996



認知症高齢者等にやさしい地域づくりに

都市ボランティア向け講習会を実施

福島県支部は、「東京2020オリンピック・パラリンピック」の「都市ボランティア」を対象に、福島県との共催で救急法講習会・健康生活支援講習会を行いました。

講習では熱中症対策やけが人・急病人の手当、身体的サポートが必要とされる方への接し方など、特に知っていて欲しい内容にポイントを絞った形で行いました。



支援や介護ができる技術を習得

地域で減災を考える

子どもたちが主体的に取り組み、知識と行動力を身につけることができるだけでなく、他者への思いやりや優しさ、いのちの大切さを学び取る力を育むことを目的として、学校や地域を対象に防災教室・防災セミナーを実施しました。

すごろく形式で災害時のシチュエーションを疑似体験し、防災の知識を楽しみながら学んだり、地域の赤十字奉仕団の協力の下で非常食作りなどを体験しました。



すごろく形式で楽しみながら災害について学ぶ



奉仕団の協力を得て、非常食作りを体験